

「北九州市地域福祉計画」を策定しました

地域のつながりが希薄化し、個人や家族が抱える問題も複雑・多様化する中、市民一人一人が安心して暮らせることを目指し地域福祉計画をつくりました。

この計画では、行政はもとより本市で過ごす誰もが地域の一人として主体的に取り組んでほしいことを盛り込んでいます。

【基本理念】
地域の特性を生かした地域共生のまちづくり

【計画期間】
令和3年度から令和7年度までの5年間

基本目標1
支え合いの気持ちを育もう

地域の二員であること、互いに支え合う関係が大切であることを理解し、できることから行動することを目指します。

主な取り組み

- 地域福祉へ関心と理解を深めるため、講演会の開催やSNS（※）・アプリなどを活用して広報・啓発を進めます。
- 専門家による相談対応やアドバイスなど、活動を始めたい人を後押しする環境づくりに取り組みます。

※登録された利用者同士が交流できるインターネット上の会員制サービス

〈地域での活動事例〉

ウエルクラブ活動(ある地区の例)
子どもたちが視覚障害者に普段どのようなことに困っているか

話を聞き、協力できることや適切な接し方を学んでいきます。



基本目標2
支え合いの輪を広げよう

地域で活動するNPOやボランティア団体などの連携を図り、支え合いのネットワークづくりを目指します。

主な取り組み

- 市民センターなどを活用し、地域の人と交流できる場所をつくります。また、地域の困りごとを解決する取り組みを支援します。
- 災害に備え、地域での安否確認や避難方法、避難所の運営などを検討し、助け合う仕組みづくりを支援します。

〈地域での活動事例〉

子ども食堂
孤食の防止と地域の子と大人が安心して楽しくコミュニケーションを図れる居場所として運営されています。



基本目標3
支え合いの輪につなげよう

困った時に、必要な支援の情報が入手できる体制を整えます。また、必要に応じて、専門機関ともつながれるような仕組みづくりを目指します。

主な取り組み

- 高齢者・障害者・子育て世帯・生活困窮者などそれぞれの相談窓口が連携し、包括的に支援する体制づくりを進めます。

この計画により、高齢者、子ども、障害のある人などすべての人が、地域・暮らし・生きがいを共に創り、「支える側」と「支えられる側」に分かれるのではなく、誰もが支え合う共生社会の実現に向けた取り組みを推進します。



▲保健福祉局 地域福祉推進課 主任 坂田 智子さん

「北九州市地域福祉計画」は市のホームページや各市民センターでご覧になれます。



地域福祉計画は
コチラ！

保健福祉局
地域福祉推進課
☎582・2060

東アジア文化都市北九州2020・21 ミニコーナー

担 市民文化スポーツ局東アジア文化都市推進室 ☎582・2390

小倉城薪能

夜の小倉城を背景に、かがり火をたいた特設舞台で演じる「薪能」。第一部は子ども・留学生による能楽のステージ、第二部は薪能「土蜘蛛(つちぐも)」と狂言「酔薑(すはじかみ)」を披露します。

[日時]10月2日(土)15時30分~19時10分
[場所]小倉城天守閣前広場(小倉北区)
※雨天時はムーブ(小倉北区大手町)で。

[申し込み方法] 往復はがきに、基本事項と雨天時の参加希望の有無を書いて、9月15日までに東アジア文化都市北九州実行委員会事務局(〒803-8501 小倉北区城内1-1)へ。



夜の小倉城で「幽玄の世界」を堪能

能楽は室町時代(約600年前)に観阿弥・世阿弥親子によって確立された世界最古の演劇として、世界文化遺産にも認定されています。能楽とは能と狂言の総称。厳かな能と滑稽劇の狂言との対比も魅力です。「土蜘蛛」は分かりやすい能で、初心者にもおすすめです。狂言「酔薑」は酔売りとショウガ売りの絶妙な掛け合いが見どころです。

※広告の申し込みは御ホープ ☎092・716・1404まで。
※広告内容と北九州市とは直接関係ありません。